

会 議 録

会議の名称	令和元年度第1回茨木市指定管理者候補者選定委員会
開催日時	令和元年7月1日(月) (午前) 午後) 10時00分 開会 (午前) 午後) 12時00分 閉会
開催場所	秘書課会議室
委員長	河井豊(副市長)
出席者	【委員】 河井委員長(副市長)、井上委員(副市長)、 小田委員(学識経験者)、坂西委員(学識経験者)、 山下委員(学識経験者)、秋元委員(企画財政部長) 【説明員】 河原障害福祉課長、藤山障害福祉係長 青木地域福祉課長、佐原地域福祉係長 河崎保健医療課長、濱田保健医療課参事 中井子育て支援課長、村山子育て支援課長代理 浦野農とみどり推進課長、内田農とみどり推進課長代理
欠席者	森岡委員(総務部長)
事務局職員	岩崎政策企画課長、森本政策企画課長代理、梅鉢政策企画課係長
開催形態	非公開
議題(案件)	平成30年度指定管理者制度導入施設の評価結果について (障害福祉課所管施設、地域福祉課所管施設、保健医療課所管施設、 子育て支援課所管施設、農とみどり推進課所管施設)
配布資料	平成30年度実績 評価結果(案)

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
河井委員長	<p>ただ今から、令和元年度 第1回 茨木市指定管理者候補者選定委員会を開催する。</p> <p>指定管理者制度は、市が指定する民間事業者等に、施設の管理業務を代行してもらうものであり、民間事業者等が持っているノウハウを活用し、「市民サービスの向上」と「経費の節減」を図る制度である。</p> <p>当選定委員会は、公の施設に係る指定管理者の候補者を公正かつ適正に選定するため、設置されたものである。委員の皆様方のご協力をお願いしたい。</p> <p>様式等については、さまざまな工夫をし、今回はフォーマットを見直した後の初回の選定委員の評価を示すものになる。このフォーマットの変更は、指定管理者の提案事項等がきちんと反映されているかどうかという視点を反映できるようにしているので、委員の皆さまには、よろしくをお願いしたい。</p> <p>それでは、出席委員の状況であるが、事務局にお願いする。</p>
事務局	<p>本日の議事に関係のある委員総数7人の内、出席の委員は6人、欠席の委員は1人である。</p> <p>委員会規則第6条第3項により、委員の半数以上が出席しているため、会議は成立となる。</p>
河井委員長	<p>議事の進行にあたって、当委員会の会議は、委員会規則第6条第5項により、非公開としている。なお、会議録の作成については、事務局からの説明を求める。</p>
事務局	<p>会議録については、具体的な法人の技術情報や信用情報に関わる部分を除き、公開したいと考えている。また、会議録の内容については、要点筆記とし、発言者名については昨年度に引き続き公表したいと考えている。</p>
河井委員長	<p>ただ今、事務局から、会議録の公開についての考え方について説明があったが、意義はないか。</p>
委員全員	<p>(異議なし)</p>
河井委員長	<p>障害福祉センター、ハートフルについて</p> <p>それでは本日の案件である、「指定管理者制度導入施設における平成30年度の審査結果について」の審議に入る。障害福祉課の所管施設である「障害福祉センター、ハートフル」の評価結果について、説明をお願いする。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
障害福祉課	<評価結果について説明>
秋元委員	収入のところのその他収入というものが260万円ほど入って、収支がゼロとなっている。毎年、その他の内訳として、どこかに助けてもらっているのか。
障害福祉課	今回は、人件費の部分で本部から繰入金があり、それが、その他収入の大半を占めている。本部から190万円の収入があり、こちらについては、ハートフルで休職者が出て、本部から職員が派遣をされているが、今後、臨時的な雇用という部分での費用負担というところで、本部からの繰り入れという形で収入があったということになっている。ここで、収支を調整した。
秋元委員	臨時的な措置ということか。
障害福祉課	臨時的な措置である。
河井委員長	障害者就労支援センター、かしの木園について 続いて、「障害者就労支援センター、かしの木園」の評価結果について、説明をお願いします。
障害福祉課	<評価結果について説明>
河井委員長	提案事業で、工賃向上に向けた取り組みをS評価にしているということか。
障害福祉課	工賃向上については、S評価にしているが、全体的に評価するとA評価としている。
河井委員長	ハートフルは指定管理事業・自主事業等の評価では、自己評価がS評価とされていて、市評価がA評価となっているが、その違いは、市としての見解はあるのか。
障害福祉課	かしの木園のS評価については、大阪府の工賃向上の計画のほうで先進事例として取り上げられたということもあり、この部分も踏まえてS評価とした。ただ、工賃自体が飛び抜けていいかというと、府の平均は超えて

議 事 の 経 過

発言者	議題 (案件) ・ 発言内容 ・ 決定事項
秋元委員	<p>いるが、特筆すべきとまではいえないので、A評価とした。</p> <p>取り組みは先進的であるが、結果というところはまだS評価というほどではないということか。</p>
障害福祉課	<p>そうである。</p>
秋元委員	<p>全体評価や、13ページ、14ページの自己評価の書きぶりが、非常に簡潔なものとなっているが、何か指定管理者に対して指導していないのか。先ほどのハートフルを振り返った上で、基本の流れはくんでもらいたい。</p>
障害福祉課	<p>ここについては、かしの木園の管理者である園長が、年度末に急遽交代になり、その引き継ぎ等が十分に行えていない部分もあった。新しい園長については、引き続き市でもサポートをしながら、評価所見についても、しっかりと記入してもらえよう、話をしたい。</p>
河井委員長	<p>今回のフォーマットの見直しで、市が一方向的に評価するのではなく、施設管理者が頑張ってもらっているというところも、指定管理者がアピールできるようにということで設けた枠である。むしろ指定管理者側に立った枠なので、そこの趣旨を十分指定管理者にも理解いただかないといけない。面倒というふうに捉えられてしまうと、せっかくの仕組みが機能しなくなる。</p>
障害福祉課	<p>承知した。</p>
山下委員	<p>人件費について、今年度の執行率が107%となっており、300万円ほど予算超過をしている。これは一時的なものか。令和元年度は、前年度並みの予算額ということで決定しているというのはいいが、恒常的であれば、当然予算に反映し、4,300万円を4,600万円としなければならぬと思う。何か事業の構造が変わったことがあったのか。</p>
障害福祉課	<p>こちらについては、法人の形態が、前年度の平成29年度まではNPO法人だったのだが、平成30年度から社会福祉法人になったので、本部負担金の600万円を人件費で計上している。こちらは、当初の予算の段階では、社会福祉法人を前提として計上がされておらず、当初予算以降に発生したため、その分が今回107%ということで執行率が上がっている。</p>
山下委員	<p>となると、これは決算の性質上、少しずれるかもしれないが、平成31年度の予算は4,300万円を4,600万円にしなければいけなかったのではないか。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
障害福祉課	平成30年度から指定管理が5年間始まるにあたり、当初は、社会情勢の変化は考えず、まずは通常、人件費については基本的には据え置きベースで考えるということで、指定管理者と話ができている。今回は法人の体制が変更になったことで、臨時で、支出が膨らんでしまいはしたものの、体制としては、もともとのサービスとしての要求基準よりも上回った形で人員配置をしていることから、何とかこの金額の中で収められるように、法人としても努力をしてほしいということで折衝した結果になっている。
河井委員長	事業等収入が相当膨らんでいるが、その部分はそういうところで賄われたのか。
障害福祉課	事業費収入が上回った部分で賄うことができたという形にはなっている。
河井委員長	当面、現在の指定管理期間中は、その方針でいくのか。
障害福祉課	社会的な人件費増などに、どこまで対応していくかは、この施設だけではない話ではあるが、協議は必要であると考えている。
河井委員長	障害者就労支援センター、ともしび園について 続いて、「障害者生活支援センター、ともしび園」の評価結果について、説明をお願いします。
障害福祉課	<評価結果について説明>
井上委員	利用者サービスの把握と対応について、今の説明は、調査しているからA評価という話があった。中身を見ると満足度が高いニーズがあるが、これをもとに評価しているのか。
障害福祉課	結果としてもおおむね好評を得られているということでのA評価としている。
井上委員	S評価とA評価の違いは何か。
障害福祉課	基本水準であれば、A評価になる。評価が大変満足というところに、より寄っていけば、どこで線を引くかというところが非常に難しいが、その辺の観点で評価した。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
<p>秋元委員</p> <p>障害福祉課</p>	<p>「利用者ニーズの把握と対応」の②の意見・要望が3点あるが、全て今後検討していくとなっている。対策できるレベルではないものもあるが、その後の検討状況はどうなっているのか。</p> <p>一番上の医療的ケアを必要とするという部分については、医療的ケアを必要とされる障害のある方、特に重度な方ということになるのだが、そういった方の受け皿としての施設の数、地域を見てもそれほど多くないというところもあり、この施設が果たす役割は大きいと考えている。その点からも、今年度から送迎の車を1台増強し、少しでも対応できるように考えていく。</p> <p>理学療法士については、実際に人がなかなか見つからないという部分もあり、検討はしているが、具体的な道筋というのは、現状はまだ立っていない。</p> <p>旅行については、法人の考え方として、利用以外の部分で少しでも楽しみをつくりたいということで予算の査定時に提案はいただいているが、それを指定管理料、市の公費によって、どこまで見るのかというところが、まだ線引きが十分できなかった。この令和元年度の予算では見送りをしているが、令和2年度以降、法人の負担と指定管理料としての負担でどこまで実現可能なのかということは、引き続き検討していく予定である。</p>
<p>秋元委員</p>	<p>少し膨らませて書けるのであれば、市としては、書いてもらうほうがいいのではないか。</p>
<p>河井委員長</p>	<p>障害福祉課所管の3施設、総合的に全てA評価ということなのだが、3施設で3法人がそれぞれあり、法人の持っている性格があるということと、その施設の位置付け、意義づけというところの整合性という大きな点から考えての評価か。</p>
<p>障害福祉課</p>	<p>それぞれ施設の法人については、指定管理としては2期目に入っているため、当然、施設の意義も理解されながら事業を展開されていると感じている。ハートフルについては、自主事業というところで、新たな事業ということで積極的に取り組んでいる。かしの木園については、共同受注も含めて工賃向上というところに積極的に取り組んでいる。ともしび園については、先ほどの医療的ケアというところで必要な施設というところもあり、この辺りの対応については従前から取り組んでいただいているので、それぞれ3施設とも頑張っていると感じている。</p>
<p>山下委員</p>	<p>ともしび園のその他経費が約1,300万円で、平成27年度は300万円で、何倍にもなっている。もし可能であれば、来年度以降、その</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
河井委員長	<p>他経費をもう少し細かく記載したほうがいいのではないかと。</p> <p>その辺りも、項目上の整合性で難しい面があるのであれば、説明のときに内訳を少し補足していただきたい。</p>
河井委員長	<p><u>高齢者活動支援センター シニアプラザいばらきについて</u></p> <p>続いて、「高齢者活動支援センター シニアプラザいばらき」の評価結果について、説明をお願いします。</p>
地域福祉課	<p><評価結果について説明></p>
井上委員	<p>利用状況について、自己評価がB評価、市の評価がS評価ということで、2段階上がっている。これは、単純に利用状況だけ見ると横ばいかどうかというところだが、何かの事情があったのか。</p>
地域福祉課	<p>他の多世代交流センターや、それ以前の老人福祉センターのときでも、利用状況が4万人を達成している施設はない。シニアプラザいばらきが去年よりも若干落ち込んだものの、依然として、他の施設では実現できていない4万人を確保できているという点でS評価とした。</p> <p>指定管理者の自己評価については、去年よりも落ち込んだところを捉えてB評価とされたものだと思う。</p>
井上委員	<p>目標の設定については、4万人を維持することは大変であるが、他の施設から比べると一段高い目標だということか。</p>
地域福祉課	<p>4万5,000人という目標設定については、他のセンターよりも高い目標設定である。</p>
井上委員	<p>高いという判断で、そのうえでS評価だということか。</p> <p>また、利用者ニーズの把握と対応について、これは市の評価がS評価だが、どういう理由で、利用者ニーズの把握と対応がA評価からS評価になったのか。</p>
地域福祉課	<p>どの施設でもそうだが、指定管理者とは、月に一度は連絡会で意見交換をしている。その中でも、利用者の方へのスピーディーな対応、アンケートで出た施設の使いやすさ等、修繕が必要な箇所に対する対応のスピードを鑑みて、S評価とした。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
井上委員	単純に今回アンケートで出てきている「満足度が高い」など、そういうところだけではなく、対応の状況等のスピーディーさでS評価にするかどうかを判断しているということか。
地域福祉課	そうである。
山下委員	内部留保は約500万円と書いてある。内部留保は翌年度の支出には反映していないが、内部留保自体の金額はどのように使われるのか。翌年度の予算に対して、それは収入に反映されるのか。
事務局	こちらは法人の収入になっており、反映されてはいない。
山下委員	内部留保を貯めているのはどこか。
事務局	指定管理者である。
山下委員	来年度の新しい予算には計上しないのか。
事務局	入っていない。
河井委員長	収支が例えば平成30年度であればプラスになっているため、そういう問題はないが、平成29年度がマイナスの32万5,000円が出ており、その辺りを内部留保から補填（ほてん）しているということか。
事務局	そうである。 基本的には、マイナスがあれば内部留保で補填する。
河井委員長	その内部留保金の収支は、ここには全然記載はなく、出てきていないということか。
事務局	そうである。
小田委員	評価基準は、自己評価と市の評価は、同じ立場から評価するということか。
地域福祉課	同じである。
小田委員	自己評価と市評価に差がある場合に、指定管理者は、差が生じた理由を知る機会はあるのか。どこに認識の差があるので評価にギャップが出ており、そのギャップは、翌年度の事業でどう調整するかなどのプロセスがな

議 事 の 経 過

発言者	議題(案件)・発言内容・決定事項
地域福祉課	いとPDCAが回らず、翌年度の改善につながらないように思うが、そういう機会はあるのか。
小田委員	毎月定例的に指定管理者との会合を行っているため、評価委員会からの意見も踏まえた上で話をしている。
事務局	今回から、自己評価と市評価という形で多面的に評価するようにしたので、しっかりとフィードバックする。
河井委員長	それで言うと、冒頭にあった、視点が一緒なのかという点については、利用状況のB評価とS評価では、少し視点が違う気がする。4万5,000人の目標で4万300人というのは、達成していないということをもってB評価としているのか。
地域福祉課	当初指定管理を受けたときのプレゼンで、5年間で4万5,000人に到達させるということを掲げていた。この4万5,000人を必ず到達させるという思いは、指定管理者がすごく強い思いがあるため、それに向けて順調に推移できなかった、要は昨年に比べて少し落ち込んだところを非常にマイナス評価として捉えたと聞いている。
河井委員長	そうなると、達成できていないのにS評価にしているという市の評価がいかがかという理屈になる。
地域福祉課	評価について、再検討する。
河井委員長	<p data-bbox="373 1592 826 1630"><u>各多世代交流センターについて</u></p> 続いて、「各多世代交流センター」の評価結果について、説明をお願いします。
地域福祉課	<評価結果について説明>
井上委員	利用者ニーズの把握と対応について、多世代交流センターを見ると、先ほどのシニアプラザから比べるとアンケートの満足度が高い。高いうえに、福井多世代交流センターでは、対応も迅速だと書いてある。こちらがA評価で先ほどのシニアプラザがS評価というのは、どういう違いがあるのか。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
地域福祉課	精査する。
河井委員長	S評価とA評価でいうと、全体評価の1、2、3、4、5がある中で、全体評価の中でS評価が何個あれば総合評価がS評価になる、という基準は決めているのか。
事務局	S評価が2個以上あればS評価になるが、その中でB評価が1個でも含まれていたらA評価になるなど、各項目別の評価数で自動で決定する基準を設けている。
河井委員長	5項目のうち2個S評価があれば総合評価がS評価になると。
事務局	ただし、5項目の2項目は3段階評価になる。
河井委員長	5カ所のうちA評価が葦原で、その他は全部S評価である。
地域福祉課	先ほど申し上げた葦原については、少し利用者が伸び悩んでいるというところと、自主事業の実施が少ないというところで市の評価を下げた。
秋元委員	傾向としてS評価が多い施設かなというふうに見える。利用状況の目標もそこまで高くないが、てこ入れをしなければならぬということ踏まえると、市としてS評価としていいのか。S評価という、全てうまくいっているという状況であるため、検討する必要がある。特に、客観的で分かりやすい利用状況のところは、S評価は高いイメージがある。
地域福祉課	夜の利用は、当初4年前、この施設を作ったときに、子どもとの交流を含めて、5時や6時で閉めているのはどうかという点で、夜も開けるという形で進めた。 ところが実際に進めてみると、お年寄りのライフスタイル的に、夜は5時ごろになったら家に帰るところがあった。その辺りを、いきなり開館時間をはやめるのではなく、交流事業や、あるいは臨時的にイベントだけするときには開けるという形で、効率的な施設の運営を考えていきたいと思っている。
河井委員長	去年やおととの総合評価はどうだったのか。
事務局	全てA評価だった。
河井委員長	今年からS評価になったのか。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	今回から自主事業等を評価できるようになり、そこが評価できる場所であるため、評価が上がった。また利用状況も、S評価をつけるかどうかは別として、多世代については一定上がっていることは確かである。
秋元委員	ただ、施設の設置目的は多世代交流なので、子どもとの交流という部分も、この施設には使命があるとなると、そこの自主事業を展開的というのは、やはり今後も期待しなければならない。
地域福祉課	その交流についても、指定管理者に任せたい部分があったのは確かである。今後については、例えばシニアプラザで、生涯学習に関する授業もあるので、そこで勉強された方が、きちんと子どもたちに展開できるように、システムチックにした形で仕様もつくっていきたいと思っている。
井上委員	沢池多世代交流センターの利用状況で、同好会の利用数とか団体利用者数の目標が低いのはなぜか。過去の実績を見ると、同好会の利用数は平成29年度だと約1万2,000人だが、9,000人に落としていたり、団体利用者数も、約6,000人だが、1,400人になっている。目標の設定は、指定管理者が設定しているのか。それとも、ある程度市から、記載している目標でやるように話をし、設定しているのか。
地域福祉課	確認する。
山下委員	南茨木は、多世代と老人のデイサービス、両方合わせて拝見していると、毎年非常に収益が上がっており、毎年1,600万円プールできていて、相変わらず1,000万円近くの指定管理料が出ているということは、どういう整理をすればよいか。
地域福祉課	多世代交流センターとデイサービスセンターは、一体的な管理という形でお願している。 デイサービスセンターについては介護保険事業ということで、一定収益が上がる。その収益で、一体的に指定管理する、多世代の自主事業等に充ててほしいということをお願いしている。しかし、現状、収益が大きいというところは認識している。 市立老人デイサービスセンターについては、平成31年3月の議会で令和元年度末で廃止となった。今後、その辺りはきちんと分けて指定管理をし、整理したいと思っている。
河井委員長	全般的にデイサービスセンターは収益が上がるので、デイサービスセンターの収益を多世代のほうに充当するというところで、収入のところで繰入

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
地域福祉課	<p>金になる。それを含めても、今年度の南茨木については、支出自体が少ない。人件費が落ちているのはなぜか。</p> <p>また、平成31年度予算もそれになっているので、一定話し合いがあつて落としたのだらうと思う。配置すべき人員を欠員のまま放っておいたという話ではないか。</p> <p>そうではないが、確認する。</p>
河井委員長	<p>各デイサービスセンターについて</p> <p>続いて、「各デイサービスセンター」の評価結果について、説明をお願いします。</p>
地域福祉課	<p><評価結果について説明></p>
井上委員	<p>沢池デイサービスセンターと南茨木デイサービスセンターで指定管理事業の自主事業の評価は、記載内容が同じであるが、一方がA評価で一方がS評価の違いはなにか。</p>
地域福祉課	<p>これは地震の影響による送迎事業、買い物困難者に対する送迎事業の有無をもって、A評価とS評価というふうに評価を分けている。</p>
河井委員長	<p>デイサービスセンターは、今年度末をもって市立としては廃止していくので、多世代交流センターの指定管理との関係は整理していく。</p>
井上 委員長代理	<p>保健医療センター及びこども健康センターについて</p> <p>続いて、「保健医療センター及びこども健康センター」の評価結果について、説明をお願いします。</p>
保健医療課	<p><評価結果について説明></p>
坂西委員	<p>保健医療センターについて4ページのアンケート結果の総回答数が1とかなり少ない状況であるが、その理由はなにか。また、3ページにはアンケートの配布数は418枚で回収数412枚とあるが、その違いの理由も教えていただきたい。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議題(案件)・発言内容・決定事項
保健医療課	<p>従来、意見箱を設置していたのは、急病診療所になり、そこでカウントして1と上がっている。今回、412という意見については、昨年度の委員会で改めて意見を収集する指示があったため、昨年12月の当該センターで健診を受けられる方に対して行った件数ということで、差異が出ている。</p> <p>モニタリングシートの内容が変わることを踏まえたアンケート収集方法を行っていなかったため、急病診療所と検診にかかる部分でアンケート総数に差異が出ている。</p>
事務局	400件のアンケートで聞いたのは、職員対応だけか。
保健医療課	聞いている項目は他にもある。
事務局	<p>今回聞いたアンケート項目を追加していただきたい。</p> <p>また、過去の日安箱での一致する項目があれば、過去の経歴も入れていただきたい。</p>
保健医療課	承知した。
河井委員長	<p>子育てすこやかセンターについて</p> <p>続いて、「子育てすこやかセンター」の評価結果について、説明をお願いする。</p>
子育て支援課	<評価結果について説明>
坂西委員	<p>子育てすこやかセンターの自己評価のところでS評価が多い気がする。自己評価でS評価とつけている理由は何か。例えば、22番のエコオフィスプランを見てみると、自己評価ではS評価というふうになっていて、市の評価はA評価というふうになっている。理由を教えてください。</p>
子育て支援課	<p>事業者については、一定グリーン購入や、それから紙の使用量についても気を付けていただいているが、紙の使用量が多い状況がまだ続いていることと、それからグリーン商品の購入については、まだ購入を拡大できる余地があるのではないかとこのように考えており、このところは、自己評価はS評価としているが、市評価としてはA評価とした。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
坂西委員	自己評価から評価を下げた場合、何をやるべきかを事業者に示していただきたい。
秋元委員	平成30年度の指定管理料の決算額が増えているのは理由があったのか。
子育て支援課	最低賃金の部分で低い部分が一定あったため、その部分をフォローした結果である。
河井委員長	利用状況が、時間の稼働率、利用人数とも、どんどん上がってきていて、右肩上がりになっているのだが、来年度以降の目標をどう設定するか、この施設のキャパがどこら辺にあるのかということも見極めていただきたい。
河井委員長	<div data-bbox="371 954 699 994" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">里山センターについて</div> 続いて、「里山センター」の評価結果について、説明をお願いします。
農とみどり推進課	<評価結果について説明>
秋元委員	個人情報保護について、B評価であった。これはセンシティブなところなので、その後、現状はどうか。
農とみどり推進課	現状については、施錠をしなければいけないということで、来年度予算に上げるか、部品を買って一部保護しようかというふうには考えており、対策はそのように考えている。
河井委員長	それほどお金がかかるものではないと思うので、至急やっていただきたい。
農とみどり推進課	承知した。
井上委員	施設利用者数の今年度の目標は、高い目標値で設定されているが、見通しはあるのか。過去の目標と実績から比べると、高く伸びているような気がするのだが、どうか。
農とみどり推進課	平成30年度は、かなり天候の不順に左右されていたところがあり、バーベキュー、オートキャンプについてもキャンセルが相次いだということ

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	もある。今年度は、まだ年度途中ではあるが、里山まつりで一定数の入場者もあった。達成できるかどうかはまだ分からないが、それほど難しい数値ではないと考えている。
井上委員	アンケートの回収率であるが、これはかなり悪いが、何か改善に向けた工夫などはないのか。
農とみどり 推進課	イベントなどで、来場者には必ず渡すようにしている。しかし、木工体験が終わった後に、そのまま帰られたりしているので、帰りの方にも声を掛けるようにと言っているが、今後も徹底していきたいと思う。
河井委員長	木工室の利用で延べ人数が書かれているのだが、確か講習があつて登録者ではないと使えなかったと思う。登録人数の動きは何かないか。
農とみどり 推進課	確認する。
河井委員長	PR、周知はどのような感じか。
農とみどり 推進課	ホームページで主に周知しており、月に8回ほど更新している。
河井委員長	あまり利用者が固定化しないようにすることと、できるだけたくさんの人に知ってもらい、利用してもらいたい。
農とみどり 推進課	承知した。
河井委員長	他に意見がないようであれば、以上で終わらせていただく。 本日は以上である。事務局、何か連絡があるか。
事務局	次回は来週7月8日月曜日午前10時から、本日ご審議いただいた評価モニタリングの審議に加え、今年度に公募する案件のスポーツ施設と駐車場についての選定方法についてご審議いただく予定としている。 以上である。